

別府市が新型コロナウイルス感染拡大防止を発信 「ソーシャル・ディスタシング（対人距離の確保）」を推進するプロジェクト 『アンド・フロー（&FLOW）』始動 溢れる思いを41.5文字で贈り合おう

大分県別府温泉は、人が入浴できる温泉湧出量世界一(※1)を誇っており、新型コロナウイルスの感染拡大防止をソーシャル・ディスタシングのロゴマークで発信し、メッセージを集めて世界中のみんなを「ほっと」励ましあうプロジェクト「アンド・フロー（&FLOW）」を、4月28日（火）から始めます。

※1 総湧出量1位のアメリカのイエローストーン国立公園は、人の入浴不可のため、人が入れる温泉としては世界一

■新型コロナウイルスで観光客が激減した温泉地が、溢れるメッセージを募集して発信します！

年間約900万人の観光客が訪れている別府市の宿泊客数も、新型コロナウイルスの影響で3月の平均が前年より6割減(※2)となり、大分県全体でも観光客数が過去最少だった東日本大震災後を下回っています。苦境に立たされている施設も多くあります。「新型コロナウイルスが終息した際には、またみんなで元気に温泉に来て欲しい」と、別府温泉関係者は強く願っています。だからこそ、今は、「3密」を避け感染拡大予防に取り組まなければなりません。そこで、別府市は、感染拡大防止のメッセージを含めたロゴマークを制作し、最前線で頑張っている人、生活が変わって苦しんでいる人、苦境にあえぐ観光地や飲食店、そして世界中の辛い思いをしている人…様々な人達をメッセージで応援するプロジェクトを始めます。今後、このプロジェクトに賛同する他の温泉地にも広げていくことを目指しています。

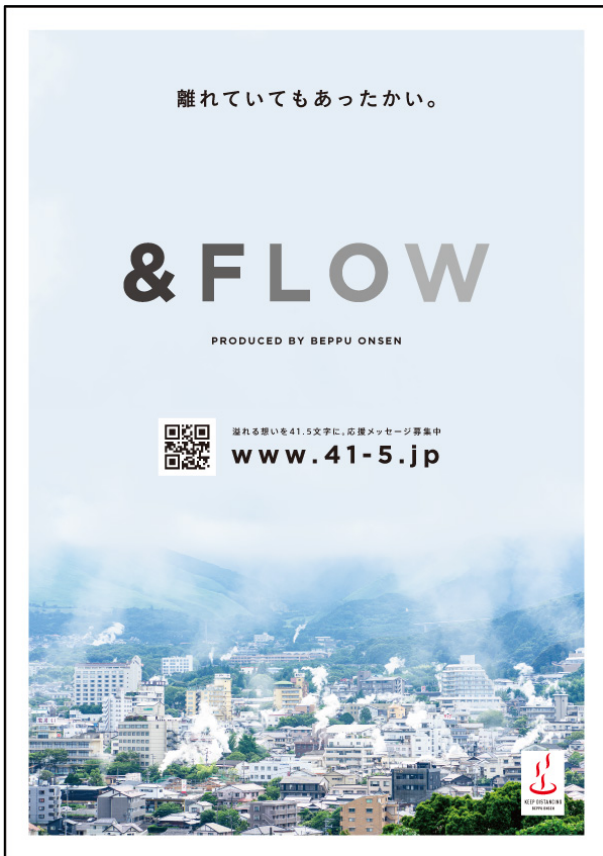
※2 別府市旅館ホテル組合連合会の緊急調査(2020年3月)

心がつながっているかぎり、温泉は止まらない。



■ソーシャル・ディスタシングを表現したロゴマーク

温泉マークの湯気を「人」に見立てて、それを離して配置することで、感染拡大防止のための適切な距離を表現しました。みんなが心をつなげて、この困難な状況を乗り越え、各温泉地と連携を図っていくためのシンボルを目指します。



■ 溢れる思いを募集！ 英語でのメッセージにも対応

お湯の温度41.5度と同じ文字数で気持ちを表そう

世界中のみんなを「はっと」励ましあうプロジェクト「アンド・フロー (&FLOW)」の特設WEBサイトを開設し、メッセージを募集します。

例えば、
 「最前線の昼夜問わず戦う医療従事者」
 「荷物をはこぶ物流関係者」
 「しかたなく休業をせざるをえない馴染みの飲食店のマスター」
 「毎日ごはんを作ってくれるお母さん」

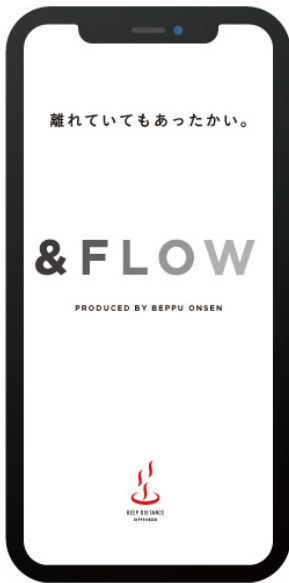
などに向けて、温泉のちょうどよい湯加減といわれている41.5度にちなみ、41.5文字以内のメッセージを募集しています。集まったメッセージは後日、同じサイト上で温泉から立ち上がる湯気のようなアニメーションで公開されます。

URL : <https://41-5.jp>



ツイッターでも同時に投稿し、あたたかい輪を広げていきます。

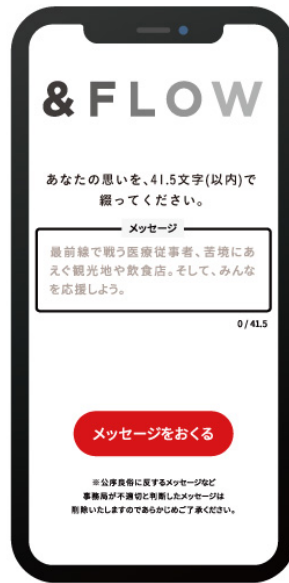
ハッシュタグ # 離れていてもあったかい



41-5.jpにアクセス



41.5文字以内でメッセージを投稿



投稿後は
Twitterでシェアが可能



この「アンド・フロー」がソーシャルディスタンス推進下の別府温泉になります。
 温泉に浸かって身体は癒せないけど、心は癒せる場として、「アンド・フロー」の温度を適温「41.5℃」にKEEPするため、みんなでメッセージをおくりあおう！

【5月1日（金）正午公開】
 温泉が湧き出るイメージのページで、投稿されたメッセージが現れます。



メッセージを投稿して、
シェアしていただいた方の中
から

1000名様
入浴剤をお届け

ハッシュタグ
「離れていても
あったかい」で
ユーザーを検索し、
DMにて当選通知。



別府で会いましょう

■ 別府市長・長野恭紘（ながのやすひろ）



「約11万7000人の別府市民の多くは、観光業に従事されています。あの熊本・大分地震から4年が経ち、観光復興を遂げ、さあこれからというときに、新型コロナウイルスの猛威が世界中を覆いました。別府温泉も大きなダメージを受け、別府市はスピーディーにさまざまな施策を考え、実行に移していきます。

その中のひとつに、ウイルスの感染拡大を防止しなくてはいけないという観点から「ソーシャル・ディスタンス（対人距離の確保）」の啓発を打ち出します。そして、自粛要請のなか、自宅においても気軽に参加できるWEBプロジェクトをはじめます。温泉地・別府だからできる、世界中のみなさまを「ほっと」温めあう、温泉のようなプロジェクトです。自粛疲れを癒やすのも、また温泉のような人の温かさだと思います。1日も早く終息することを切に願っております。」

■ 別府市の温泉

大分県別府市中心部に温泉街があります。湧出量83,058L/m(※3)と、人が入れる温泉としては世界一の温泉湧出量を誇る別府温泉郷を擁しています。市内に8箇所の温泉郷（別府温泉・浜脇温泉・亀川温泉・鉄輪温泉・観海寺温泉・堀田温泉・柴石温泉・明礬温泉）が点在しており、別府八湯と呼ばれています。泉質が異なり風景も温泉地ごとに趣があります。観光客数は年間約900万人、宿泊客は約250万人、有料宿泊施設は282にのぼります。内外国人観光客は約77万人、宿泊客は約66万人でした。(2018年3月末現在)

※3「温泉統計ベスト10」(『温泉』通巻859号、一般財団法人日本温泉協会 2014年)より。毎分83,058リットルの湧出



■ 本リリースの素材は、下記からダウンロードをお願いします。

http://prt.red/0/beppu_onsen

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

(一社) 別府市ビービズリンク 担当：堀・後藤 TEL：0977-76-5205 メール：info@b-bizlink.or.jp